

(令和 4 年 11 月現在)

令和 3 事業年度及び中期目標期間に係る業務の実績に関する 評価結果に対する対応について

地方独立行政法人法第 29 条の規定に基づき、公立大学法人福知山公立大学評価委員会による「令和 3 事業年度及び中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果」の対応状況を公表します。

なお、以下に掲げる課題（指摘事項）は、全体評価及び大項目別評価等において課題として指摘されている事項のうち、本学において特に対応が必要であると考えた事項から抽出しています。

【令和 3 事業年度】

■課題（指摘事項） 1

課題 (指摘事項)	全体評価 令和 6 年度の大学院の設置や「福知山モデル」の実現に向けた地域連携の取組など今後の大学の発展にとって欠かせない事業を着実に進めていくことが必要であり、それに伴い業務量の増加が見込まれる。厳しい財政状況であることから業務の効率化を図っていただきたいが、教職員に過度の負担が増えるようであれば教職員等の増員を含めて、検討いただきたい。
課題対応	第 2 期中期計画で示した財政試算に基づき教職員を計画的に増員しつつ、外部資金を活用した有期雇用職員の確保、DX 推進を柱とする業務改善、研修を通じた業務スキルの向上、他機関との積極的な人事交流等、福知山モデルを実現するための組織体制構築に向け多様な方策を検討していく。

■課題（指摘事項） 2

課題 (指摘事項)	第 4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置 コロナ禍での学生募集活動の制約があるなか、全国から多数の志願者を集めたことは評価できるが、地元である北近畿地域からの志願者が増えるよう、引き続き福知山市と連携しながら、より一層努力いただきたい。
課題対応	地域枠を含めた総合型選抜の導入について検討する。

■課題（指摘事項） 3

課題 (指摘事項)	第 7 自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置 達成度指標（数値目標等）を年度計画の目的と合致するよう設定いただきたい。
課題対応	I R 委員会では毎年、入試や学生・教職員、教学、就職といったデータをまとめたデータブックを作成しており、これを用いて適切な達成度指標についての検討を行う。また、公立大学協会から報告されている公立大学ファクトブックから有意な達成度指標を設けることができるかを検討する。

■課題（指摘事項） 4

課題 (指摘事項)	第 14 福知山市の規則で定める業務運営に関する事項 学内ネットワークの環境の整備が遅れている。
課題対応	情報基盤委員会において学内ネットワークシステム更新に係る仕様書をまとめており、令和 5 年 4 月に更新する予定で準備を進めている。

[中期目標期間]

■課題（指摘事項） 1

課題 (指摘事項)	全体評価 キャンパスの拡張、教育施設設備の充実、学生の満足度を高める厚生施設整備など、中長期展望に立ったキャンパス整備構想のもとでのさらなる教育研究環境の充实在不可欠である。
課題対応	教育研究環境の充実については、財務・施設設備委員会の下で各部署・委員会からの提案を吸い上げ、それらをもとにした中期的な施設設備刷新・拡張のスケジュールを組み立てて実現する。また、長期的展望については、大学全体の方向性に鑑み、特に厚生施設の整備拡大に関して、執行会議等で定めた方針を踏まえた施設設備計画を確立すべく議論を重ねる。大規模な計画については外部予算（国のプロジェクト予算等）を念頭に予算確保しつつ機動的に対処できるよう、具体的な計画をあらかじめ準備しておくことをめざす。

■課題（指摘事項） 2

課題 (指摘事項)	全体評価 他大学に比べ教員数、職員数は依然として少ない。労務負担の改善だけでなく教育研究の質保証の観点からも、計画的な教職員の増員に取り組むことが重要である。
課題対応	第2期中期計画で示した財政試算に基づき教職員を計画的に増員しつつ、外部資金を活用した有期雇用職員の確保、DX推進を柱とする業務改善、研修を通じた業務スキルの向上、他機関との積極的な人事交流等、福知山モデルを実現するための組織体制構築に向け多様な方策を検討していく。

■課題（指摘事項） 3

課題 (指摘事項)	第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置 コロナ禍という特異な状況ではあるが留学生の受入れを実現できていない。異なる文化や感性をもつ外国人と共に学び共に研究を深めていく過程は、感受性の豊かな時期の学生にとって、貴重で重要な経験となり、豊かな人間性を育み、地域に根差し世界を視野に活躍するグローカリストを輩出するために非常に重要であると考え。そのためにも令和3年に開設された国際センターの活動に期待したい。
課題対応	国際センターにおいて短期の語学留学プログラムを実施するとともに、単位互換制度を利用する交換留学プログラムを検討していく。

■課題（指摘事項） 4

課題 (指摘事項)	第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 2 研究の質の向上に関する目標を達成するための措置 研究活動を充実させていくために、研究者と共に、それを支える事務職員の充実が必要である。
課題対応	連携研究員の拡充・増員や、自治体等からの研究スタッフの常設派遣など、福知山モデルにふさわしい地域と一体となった研究推進体制の構築をめざしていく。

■課題（指摘事項） 5

課題 (指摘事項)	第4 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 3 地域協働（地域貢献）の質の向上に関する目標を達成するための措置 大学が地域貢献のための研究や取組を行っていることをさらに市民へ広報し、大学の認知度を高めるとともに、市民が大学と連携して活動を行う機会を増やしていただきたい。
課題対応	北近畿地域連携機構との連携強化による地域協働型教育研究の情報発信、報道機関との懇談会の実施等、市民の認知獲得に向けた取組みを実施する。

■課題（指摘事項） 6

課題 (指摘事項)	第5 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置 教員の人事評価制度の構築に係る努力が認められるが、まだ制度の導入には至っていない。
課題対応	令和4年度に任期付教員の再任審査を実施した。また両学部で教員それぞれが毎年作成する活動実績及び活動計画書などの基礎資料も蓄積されつつあり、本学教育研究方針に即した評価制度の早期構築を図る。

■課題（指摘事項） 7

課題 (指摘事項)	第6 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置 自主財源確保の観点からも外部資金獲得の一層の努力が期待される。
課題対応	令和6年度の開設をめざす大学院の教育研究に必要な外部資金獲得の方策を中心に検討する。

■課題（指摘事項） 8

課題 (指摘事項)	第7 自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置 大学の認知度の向上のため、今後もさらなる広報活動の拡充に努めてほしい。
課題対応	報道機関との懇談会の実施、報道機関向けの配信サービスを活用したプレスリリース等、メディアを通じた情報発信に繋がる有効な方策を実施する。

■課題（指摘事項） 9

課題 (指摘事項)	第7 自己点検・評価及び情報公開に関する目標を達成するための措置 業務実績のできる限りの数値化と、地域にもたらした実績がわかるようにしていただきたい。
課題対応	I R 委員会で毎年作成しているデータブックでは、入試、学生、教務といった大学運営に関するデータに加え、教員や学生の研究活動に関するデータをまとめている。これらのデータを基に、これまでの大学業務を見直し、業務実績の数値化手法の検討を行う。また、本学が定める「福知山モデル」に適した地域貢献に対する有意な評価指標の検討を行う。